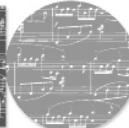


第3回仙台国際音楽コンクール

ヴァイオリン部門 2007年5月20日(日)～ 6月2日(土)
ピアノ部門 2007年6月10日(日)～ 6月23日(土)



SENDAI
INTERNATIONAL
MUSIC
COMPETITION

コンチェルト

発行：第3回仙台国際音楽コンクール (SIMC) ボランティア広報宣伝サポート
問合せ：仙台市民文化事業団コンクール推進課 (仙台国際音楽コンクール事務局)
TEL 022-727-1872 e-mail info@simc.jp URL http://www.simc.jp

コンクールニュース Vol. 2
2007.3.15

Contents

インタビュー……仙台国際音楽コンクールを支える人達から

仙台国際音楽コンクール……オーディション合格者概要、レポート・オーディションを聴いて
私の聴いたコンサート……「チャイコフスキー協奏曲のタペ」「郷古廉ヴァイオリンリサイタル」
お知らせ……街かどコンサート、仙台国際音楽コンクール入場券の発売について



緊張しないよう楽しんで 演奏してください

でんだ まさひろ

伝田 正秀 さん

仙台フィルハーモニー管弦楽団
コンサートマスター・ヴァイオリン奏者

仙台フィルのコンサートマスターになって、あっという間の1年でした。仙台は住みよいと聞いていましたが、実際住んでみると、時間がゆったり流れているような感じで、生活を楽しめる時間があり本当に来て良かったです。仙台フィルのメンバーは音楽に集中して臨むので、私自身楽しく演奏できて感謝しています。国際コンクールは大変と聞いていますが、これからのホープがいっぱい来るので、補佐しながら経験を積む良い機会と思っています。私自身はコンクールに出場するのが好きで当日を楽しみにしていましたが、一度緊張しすぎて本番の時に、力を発揮出来ないことがありました。それから緊張しないようにするための対処の仕方をいろいろ考えました。緊張してしまうと、どんなに練習してもよさが出せないの、実力を出せるようプラス思考な考え方や、自信を持って臨むようにしました。仙台の聴衆の方は温かいので、緊張しないよう楽しんで演奏してもらいたいです。



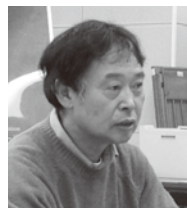
リラックスして実力を発揮 してください

やし ま たまこ

八島 珠子 さん

仙台フィルハーモニー管弦楽団チェロ奏者

八島さんは、チェロ奏者として第1回目からコンクールを支えて下さっています。「コンクールでは私たちは同じ曲を何度も演奏しますが、出場者はひとり一人違うので毎回新鮮であると同時に緊張します。これから本番までは体調管理を怠らず、課題曲の中で自分にとっては手強い曲の練習をもっとしなければと思っています。」としとやかな笑顔の中にもコンクールへの真剣な思いを話していただきました。出場者へ「どうか聴衆の温かい目を信じて、できるだけ工夫してリラックスを心がけて実力を発揮してください。」とエールを送られました。



あたたかく包み込む サポーター、先輩音楽家

むらかみ みつし

村上 満志 さん

仙台フィルハーモニー管弦楽団首席コントラバス奏者

コンクールでは、世界中から集まって来る、磨きをかけた若い才能に巡り会えるという喜びがあります。出場者は皆必死で向かってくるし、あっ!と思うような輝きを見せる子がたくさんいて、そこに触れ合えるのがすごく楽しみです。

若い音楽家はひとつのターゲットに向かって一生懸命に勉強する過程がとても大切です。試験もコンクールも一発勝負みたいところがあり、運悪く次に残れなかったとしても、そこまでの頑張ったことを糧にして、また次のチャンスに向かって走っていければ良いと思います。オーケストラのメンバーも出場者に対して頑張れ!という気持ちで演奏していると思います。



きらきら輝いてますから…

たけうち まさや

竹内 将也 さん

仙台フィルハーモニー管弦楽団打楽器奏者

ティンパニはオーケストラの“骨組み”バックボーンです。「音楽はいいですね」と出場者に思ってもらえるような場所を作り出すことが、コンクールでのオーケストラの役目だと思っています。前は、バルトークのヴァイオリン・コンチェルト第2番を6回ぐらいやらせてもらいましたが、実は入団 (2002年) するまであまりコンチェルトの経験がなかったので、作曲家の世界が広がりました。この曲のティンパニはとても難しく、貴重な経験でした。

毎回、若いソリストたちが「私はこういうメンデルスゾーン!」、「私はこんなベートーヴェン!」と主張してくるのが面白いですし、ものすごく興味深いことで、今回も楽しみにしています。

本番では、出だしが肝心です。最初が「カチツ」とくるとオーケストラもそれに敏感に反応して、これで、すべてうまくいくといってもいいかもしれません。出場者のみなさん、舞台の上で輝いてますでしょ…こちらも輝き返せればと思っています。

インタビュー

仙台国際音楽コンクールを支える人達から

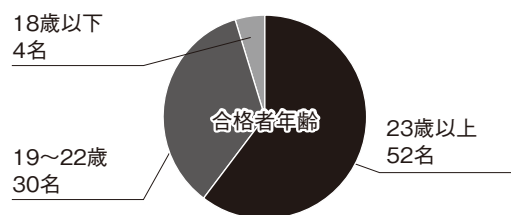
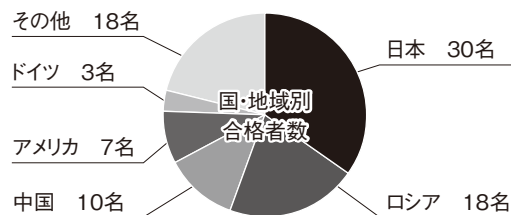
第3回仙台国際音楽コンクールオーディション終了

オーディション合格者概要

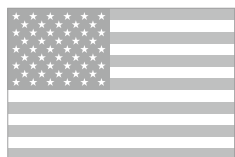
第3回仙台国際音楽コンクールの出場者が決定しました。録音による予備審査の後、昨年11月末より世界6都市（ウィーン、パリ、モスクワ、上海、仙台、ニューヨーク）にて開催されたオーディションにより、ヴァイオリン部門では参加者87名の中から44名、ピアノ部門では参加者101名の中から42名がそれぞれ選出されました。

国別では、日本が30名と最も多く、次いでロシア（18名）、中国（10名）、アメリカ（7名）となり、その他13ヶ国から21名が出場します。ピアノ、ヴァイオリン両部門とも、出場者の平均年齢が20代前半という中で、最年少は15歳でした。

第3回コンクールは今後、5月から6月にかけて、予選、セミファイナル、そして、ファイナルと順次開催されます。



ニューヨーク ジュリアード音楽院



ニューヨーク、ある時期亡父が寄港していた地でもあり、仙台に次いで出場者数（43名）の多い会場で若き才能を自分の目と耳で感じ取りたいという、いたって個人的な動機で出かけました。事前の情報とは違いコート要らずの暖冬陽気に誘われて、宿からブロードウエーに沿って歩くと、音楽家を夢見て若い人が憧れるあの「ジュリアード音楽院」です。出場者はいかに東洋からの音楽留学生が多いかが予想される程、ピアノ部門もヴァイオリン部門も中国、韓国、日本出身者が大勢でした。何故か誇らしく思われました。ヴァイオリン部門はモーツァルトずくめの日でしたが、ひとり一人の真剣な演奏に、全曲飽きることなく聴き通すことができ、我ながら驚きでした。会場では五嶋みどりさんも教え子の演奏を見守り「仙台に行けるといいんだけど…」と笑顔で。また、会場で知り合った日本籍の15才のヴァイオリニストの母親からは「合格できました」とのメールをもらいました。ニューヨークからはどの出場者が来仙するのか、わくわくどきどきしながら、やっぱり鼻^{ひい}真^まめな思いで本番を待っています。

(三)

オーディションを聴いて

仙台 仙台市青年文化センター

ピアノ部門

12月18・19日、予選出場をかけたピアノ部門オーディションを聴いた。ピアノコンチェルトをピアノ伴奏で演奏することの違和感は2人目でもうなくなり、ひとりひとりの思いのこもった演奏に聴き入った。

明らかに伴奏のほうがうまいと思える人、ここで演奏できるのが無上の喜びと思っている人、伴奏とぴったりに合っているのに力不足と思える人など、聴いていて飽きることがなかった。

物足りないと思う7、8人を除けば、誰もが予選へ進出できそうで、審査委員の苦勞をつい思ってしまった。世界各地で行われたオーディションの結果で何人が予選に出場できるだろうか。

(菊)

仙台 仙台市青年文化センター

ヴァイオリン部門



広いステージの真ん中で、審査委員と観客の前に立ち、ピアノの伴奏のみで演奏する出場者。公演とは違うオーディションというものに興味があり、足を運んでみました。

この人は高校生かな、音大生かな。緊張してる、がんばって。…この人は堂々と演奏しているからきっと舞台慣れしてるんだ。今までの中で一番音が響いてる…など、自分なりに丸をつけながら聴いていました。同じ曲を演奏しているはずなのに、演奏者によってこんなにも音色の違いが表れるとは思いませんでした。予想以上です。

予選ではこの審査を通過した、さらにレベルの高い人が集まるというわけですね。今から楽しみです。(女性出場者のドレスにも!)

(吉)

第3回仙台国際音楽コンクール開催記念

「チャイコフスキー協奏曲の夕べ ～仙台国際音楽コンクール優勝者の饗宴～」

2月1日：仙台市青年文化センター コンサートホール

奥田佳道さんによる解説から始まった今回のコンサートは、前回ヴァイオリン部門優勝の松山冴花さんとピアノ部門優勝のタン・シヤオタンさんによるチャイコフスキー協奏曲の饗宴コンサートでした。

松山さんの力強い華やかさ、タンさんの目にも留まらぬ手の動きなど、お二人のパワーを全身で浴びました。そして、その若いお二人の演奏を盛り上げるオーケストラの凄かったこと！手に汗握る勢いで全身でタクトを振られている指揮者の山下一史さん、仙台フィルハーモニー管弦楽団の方々の楽器に向かわれているエネルギーが聴衆にも伝わり、ふと見ると聴衆の何人かの方が体でリズムをとっているではありませんか。

帰りには、サイン会があり長蛇の列、列！しっかり、私もお二人にサインをいただいてご機嫌のブレイクタイムでした。

音楽のエネルギーを浴びるとパワーが湧き上がる？音を体で感じると楽しくなってリフレッシュ？ カッコいい演奏姿を見ると心も体も最高？

今宵の聴衆の方々の心にはどんな花束が届いたのかしら… (堀)



街かどコンサートその10

「郷古 廉 ヴァイオリンリサイタル」

2月24日：せんだいメディアテーク オープンスクエア

2月24日、「街かどコンサートその10」がせんだいメディアテークで開催された。「郷古 廉ヴァイオリンリサイタル」である。会場は溢れんばかりの聴衆。人気の高さが証明された。

郷古さんは宮城県多賀城市出身。地元出身の若手の演奏ということで、老若男女あらゆる年齢層の人が集まった。「2006年ユーディ・メニューイン青少年国際ヴァイオリンコンクール・ジュニア部門第1位」と紹介されると、会場には期待が一層高まった。

いよいよ演奏。モーツァルトの「ヴァイオリン・ソナタ長調K301」から4曲の演奏が始まった。ピアノ伴奏は福島県出身の大伏啓太さん。気持ちの通じ合った曲が弾かれた。3曲目には大伏さんが、ラフマニノフの「前奏曲 op. 23 No.6 No.7」をピアノ独奏した。途中、司会者との語り合いがあり、和やかなひと時が持たれた。

1時間にわたる演奏が終わるとさかんな拍手。アンコールに「タイスの瞑想曲」を弾き声援に応えた。郷古さん宅の付近から聴きにきたというある女性は、「成長著しい」「演奏に気持ちがこもっていた」と絶賛していた。ステージの様子は大型スクリーンにも映し出され、多くのファンが熱のこもった演奏に聴き惚れていた。(長)



第3回仙台国際音楽コンクール 関連事業

「街かどコンサート」その12 ピアノ・オーケストラ

2007年4月1日(日)

16:00開演(15:30開場)

仙台市青年文化センター コンサートホール
入場無料／直接会場へお越しください

3台のピアノで演奏される「ガーシュイン／ラプソディ・イン・ブルー」や、6台ピアノで演奏される「バッハ／4台のクラヴィアのための協奏曲 BWV1065」など、ピアノがオーケストラのように大変身♪

めったにない機会です！お聴き逃しなく！！



第3回仙台国際音楽コンクール 関連事業

「街かどコンサート」その13 はばたけコンチェルト(その2)

2007年4月14日(土)

15:00開演(14:30開場)

仙台市戦災復興記念館 記念ホール
入場無料／直接会場へお越しください

本コンサートのためのオーディションで選ばれた若い音楽家たちが仙台フィルメンバーによる弦楽四重奏と共演します。

コンクールの予選と同じ編成で演奏される協奏曲で、ひと足早くコンクールの雰囲気味わってみませんか？

クラシック 豆知識

②

op.ってなに？

また、作品番号の中にはバッハやヘンデルのように年代には関係なく、ジャンルごとに番号をふられている場合もあります。番号をつけるのは作曲家自身だったり、出版社だったり、はたまた作曲家の死後に別の人がつけたりと様々で、一人の作曲家に対して複数の作品目録が存在していることもあります。op.は最も多く使われている作品番号の表記ですが、モーツァルトのK.(ケツヘル番号)のように作品目録を作った人物の名前を使っていることも多くあります。ちなみにこのケツヘルさん、音楽研究者でありながらも、本当の専門は植物・鉱物学だったとか…。また、このケツヘル番号は〈番号÷25+10〉をすると、「モーツァルトがその曲を何歳で作曲したのか」がわかる場合が多いといわれています。「ホント〜?」と思った方はぜひ、何曲か計算してみてくださいね。

(柴)

自分で楽器を演奏をしたり、クラシックをよく聴かれる方には見慣れた記号ではないでしょうか。op.(オーパス)とは「オーパスナンバー」つまり「作品番号」の略記。もとは「作品」という意味のラテン語「opus」からきています。

作品番号とは、一人の作曲家の曲を、作品成立年代や、楽譜の出版年代順にふった番号のことをさします。



今日はジュニアの日!! そんな日は朝からハイテンションな私です♪

「ジュニア」とは、仙台ジュニアオーケストラのことで、仙台市と市民文化事業団が運営しているジュニアオーケストラです。練習は月4・5回。練習内容は、パート練習をベースに、弦・管・打に分かれての分奏や、全体での合奏練習と日によって様々ですが、毎回仙台フィルのメンバーの指導のもと練習に励んでいます。団員は小5〜高2まで。年齢も学校もそれぞれ違うけれど、皆仲良く楽しく活動しています。

良い演奏がしたい、良い演奏会にしたい、お客さまに楽しんでもらいたい! そんな思いを胸に、年に2回のコンサートに向けて日々練習。「音楽が好き」「楽器が好き」そしてなによりも「ジュニアが大好き」な私達の活動に、これからも注目してくださいっ! (柴)

第3回仙台国際音楽コンクール 入場券の発売について

3月15日(木) から入場券の販売が開始されます。ぜひお買い求め下さい!

	月 日		開演	席	料 金	会 場
	ヴァイオリン部門	ピアノ部門				
予 選	5月20日(日) 21日(月) 22日(火)	6月10日(日) 11日(月) 12日(火)	11:00	全席自由 (日付指定)	500円	仙台市 青年文化センター コンサートホール
セミファイナル	5月26日(土) 27日(日) 28日(月)	6月16日(土) 17日(日) 18日(月)	14:00	全席指定	S席:2,000円 A席:1,000円	
ファイナル	6月1日(金) 2日(土)	6月22日(金) 23日(土)	19:00 16:00	全席指定	S席:3,000円 A席:2,000円	
入賞者記念 ガラコンサート	6月3日(日)	6月24日(日)	14:00	全席指定	S席:4,000円 A席:3,000円	

セット券(S) 11,000円	予選3日分+セミファイナルS席3日分+ファイナルS席2日分+プログラム引換券付	ヴァイオリン・ピアノ各部門ごとのセットです セット券は、仙台市市民文化事業団企画調整係、イズミティ21のみの販売です。
セット券(A) 7,000円	予選3日分+セミファイナルA席3日分+ファイナルA席2日分+プログラム引換券付	

※セミファイナル、ファイナル、入賞者記念ガラコンサートはオーケストラ伴奏で演奏されます。 ※開場時間は開演時間の30分前になります。
※開演時間は、出場者の人数等により変更になる場合があります。 ※未就学児の入場はお断りします。

プレイガイド

- 仙台市市民文化事業団企画調整係(仙台市青年文化センター1階) TEL 022-727-1875 (9:30~19:30)
 - イズミティ21 TEL 022-375-3101 (9:30~19:30)
 - チケットぴあ(Pコード:250-6366)
- 仙台市内:ぴあステーション藤崎百貨店、EbeanS、S-PAL、八文字屋書店泉店、河北仙販SHOP、
サークルK・サンクス、ファミリーマート他
電話予約:0570-02-9999(オールジャンル受付) ※10:00~23:00(オペレーター対応は18:00まで)
0570-02-9990(クラシック専用) ※10:00~18:00

こんちえと・川柳

一役が 大きな輪となる ボランティア (長)